

俳句を楽しむ会

冬季作品
優秀作発表

遠来のお客様を
涼しい座敷でおもてなし
畳の部屋に水の音



和シリーズ



恙無きあかし新茶の甘みかな

(富士吉田) 田辺 義樹

おいしいおいしい新茶の味
こんなにおいしくいたただけるのは、心身共に健康の証ね。
朝食に出されたお茶であろう。一日の出発をかくも明るく、にぎやかに朝食を終えて、
家族それぞれ楽しい一日が始まる。

第二步踏み出す君に新茶汲む

(甲府) 金本かず子

「第二步踏み出す君」とは、学校を無事卒業し、本日就職する青年でも有ろうか。
いよいよ働く社会へ第一歩を踏み出すのだ。家族全員の朝食であろう。
作者は六十四歳のお母さん。新茶をいれて、さあ明るく第歩。

不自由の何一つ無く新茶汲む

(甲斐) 小田切福太郎

二年に歳を重ね、歳を経れば高齢になるのは当然。
前向きに前向きに生きて行く者にとっては、退屈も不自由もない。
新茶の季節は新茶を汲んで、一日を楽しんで、己が為、公の為に働く者に、
不自由は何一つない。

自販機の茶の良く売れる花の下

(上野原) 山口 秀子

公園などのお花見であろうか。
お花見時の晴天の休日とあれば、お花見人も雑踏するであろう。
それを物語るように引つ切り無しに鳴る飲料の自動販売機。
年に一度のお花見季節。入れ替わり入れ替わり。お花人に幸あれ。

傘寿越え生きよと母の日の銘茶

(甲府) 三枝 春香

母の日は五月の第二日曜日。本年は五月十二日であった。
長生きしてと銘茶が贈られて来たのもあろうか。
作者の年齢は七十九歳傘寿どころか、米寿も卒寿も全うして欲しい。

佳作

昇任の子と汲み交わす玉露かな

(甲府) 三枝 風樹

身繕い手付きなかなか茶摘婆

(身延) 小林 利典

峠路やぐい呑む緑茶揚げ雲雀

(大月) 武川 幹雄

新茶汲む秘密話してしまいいけり

(甲斐) 小田切敏子

晩霜のことなきを得て汲む朝茶

(北杜) 松林 新一

翠陰や茶の香漂う同期会

(身延) 小林 恭子

丘陵のおもかげ宿す新茶かな

(都留) 磯村 桂泉

筒と交換したる新茶汲む

(上野原) 天野 昭正

信玄忌先ず一杯は抹茶から

(甲斐) 石川 凡夫

次回作品募集のご案内

● 次の応募締切は九月三十日(火)消印有効になります。

● テーマは、夏の暑い中で過ごす暮らして、麦茶や冷茶で潤す日常のお付き合い。
その喜びや楽しみを折り込んだ、楽しく夢のある俳句を募集します。

● 応募頂いた作品の中から優秀な作品には素敵なプレゼントを用意しています。
発表は年四回新聞広告にて発表します。

● 選者は県内で俳句活動を行っている渡辺柳風先生にお願いいたします。
(先生には選考にあたり表現上の添削もお願いしております。ご了承下さい)

● 応募方法
ハガキで愛和園本店まで郵送していただくか、左記直売店までお持ちください。お
一人様何点でも応募できます。● 応募いただく作品は未発表のものに限ります。また、応
募作品は返却いたしません。● 作品には応募者の住所、氏名、年齢、電話番号を記入
ください。ペンネームで応募される方は、ペンネームの下に(本名を括弧で囲んでください)。

味と香りの「ミニ」ケース「ミニ」



直売店 ■ 太田町本店 ■ 湯村店
■ 山交店 ■ リバーシティ店

本店 山梨県甲府市太田町四一七
TEL・055(26)55075

ご応募いただく個人情報が入選作品のプレゼント発送に利用します。また、愛和園からの季節の知らせにも利用させていただきます。必要でない方は、その旨応募時のハガキ表面に記入願います。の目的以外での個人情報の利用は行いません。